



The service club to the YMCA

**THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2019年10月月会報

第370号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

主 題 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

標 語 さあ動こう On the MOVE!

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

主 題 アクション! Action!

標 語 誇りと喜びをもって With pride and Pleasure

西日本区理事(RD) 戸所岩雄(彦根シャトー)

主 題 風となれ、光となれ

副 題 こころ豊かにあるために、輝くために

六甲部長 柏原佳子(芦屋)

主 題 スピンネーカーの帆に風を集めて

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 ときめきライフをワイズ活動で!

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| <p>今月のテーマ: Brotherhood Fund (BF) Endowment Fund (EF)</p> <p>国際協会の一員であることを認識し、BF/EFの 目的を理解した上で積極的に協力しましょう。 前田香代子 国際・交流事業主任(熊本ジェーンズ)</p> | <p>2019~2020 役 員</p> | <p>会長 多胡 葉子 直前会 青柳 美知子 副会長 石田 由美子 書記 若林 成幸 会計 小林 康男 堀江 裕一 吉田 明 会計監査 加藤 光信 今田 和子 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子 六甲部地域・環境主査 青柳 美知子</p> |
| <p>日 時 : 2019年10月 9日(水)18:30 場 所 : 宝塚ホテル 翡翠の間 会 費 : 会員 3,100 円 会員以外 3,500 円 ドライバー 小林康男 鯖尻佳子 開会点鐘 多胡葉子会長 ワイズソング 全 員 聖書朗読 今田和子 祈 禱 若林成幸 ゲスト・ビジター紹介 多胡葉子会長 会 食</p> <p>お 話 し マナ助産院院長 永原 郁子 氏 『大切ないのちと向き合う』</p> <p>YMCA 報告 誕生日のお祝い 多胡葉子会長 ニコニコファンド 閉会点鐘 多胡葉子会長</p> | <p>誕生日</p> <p>9 月 実 績</p> | <p>井上 みえ(23日)</p> <p>例会出席者数 40名 在籍会員数 21名 出席会員数 17名 出席率 80.0% メイクアップ(内数) 0名 メネット 2名 コメント・孫コメント 0名、 ゲスト・ビジター 21名 例会充足率 190%</p> <p>BFポイント 9月 5,320 円 累 計 9,998 円 にこにこBOX 9月 14,500 円 累 計 29,500 円 ファンド(物品販売) 9,000 円 累 計 9,000 円</p> |

聖句

わが主なる神は、こう言われた。

「お前たちは、立ち帰って、静かにしているならば救われる。

安らかに信頼していることにこそ力がある」と。

しかし、お前たちは言った。「そうしてはられない。馬に乗って逃げよう」と。

それゆえ、お前たちは逃げなければならない。

また「速い馬に乗ろう」と言ったゆえに、あなたたちを追う者は速いであろう。

(イザヤ書 30章15,16節より)

随想

現実主義が幅を利かせるのは、いつの世でも同じでしょう。「信仰」が語ることがらはこの現実主義から見れば、単なる夢や理想に過ぎず、それこそ現実的ではないと思われてしまう。ところが、現実主義が、ほんとうに現実的な力になっているのかどうか。それはなかなか検証されません。なぜなら、現実主義的な行動がいちばん現実的なはずだという前提を誰も疑わないからです。現実主義的な行動がもっとも現実的なことから、それ以上のことは望んでも仕方がない。たとえその結果戦争が起こるとしても、それは起こるべくして起こるのだから、やむを得ない現実だ、と。

ところが、ある不都合に対して現実主義的に対処したつもりが、現実的な力にならないどころか、逆にその不都合な現実を引き起こしている。そういう皮肉な逆転現象、本当はあるのではないかと？

この御言葉はそう私たちに問いかけているように思います。「安らかに信頼していることにこそ力がある？ そうしてはられない。現実はずっと厳しいんだ。もっと現実的に〇〇するべきだ」と言いきった方が説得力がある。「信仰」が希望を語っても何となくいい加減に見える一方、厳しい現実分析を強調した方が信頼できる指導者に見える。しかし問題は、ほんとうによい現実をもたらすのはどちらか、ということだと思います。現実主義的に力をもった指導者たちがもたらした現実がどんなものだったのか。世界中の歴史のなかにイヤというほど前例をもっているからです。

金田俊郎

《 10月ゲスト 》



永原 郁子氏 プロフィール

1993年神戸市北区ひよどり台にてマナ助産院を開業。

2000年に性教育グループ「いのち語り隊」を立ち上げる。

「小さいいのちのドア」を2018年9月よりスタート！

神戸大学大学院保健学研究科臨地教授、神戸市立看護大学臨床教授など助産師の育成にも尽力

9月第1例会報告



9月11日(水)6:30分より、宝塚ホテル翡翠の間で行われた9月の第一例会には長年に亘る宝塚歌劇の演出家として活躍されてきた草野旦氏をお迎え出来た。その為、メンバーを超えるゲストを迎え、総勢40名の出席となった。

1914年(大正3年)プールを改造した劇場で、小林一三により、たった16名の少女歌劇の第一回公演が行われた事、又その後たった13年後、その頃パリの歓楽街モンマルトルで上演されていた「モン・パリ」を観てきた岸田

辰彌さんが持ち帰り、帰国の船上で制作し、1927年(昭和2年)に各地で上演披露した。この事が宝塚レビューの原点になり、日本の舞台芸術にヨーロッパの文化を取り入れた新しい流れとなった事。又幼少期に神戸に住まれ、美しい夜景に親しんでいた、女性ばかりの兄弟関係等に培われた感性を持って宝塚歌劇での活躍に繋がった事等話された。又白井鐵造、内海重典、高木史郎氏など名だたる演出家の元で、ご自分を磨きつつ宝塚歌劇の見事な発展に貢献されてきた、なんとも気さくな親しみやすいお人柄に触れる事が出来た。その後、各委員会報告、YMCA 報告、お誕生日を祝って閉会とした。



青柳美知子

9月第2例会報告

9月18日(水)午後6:30から9月第2例会を宝塚市立西公民館にて開催した。出席者は、多胡会長、吉田、若林、石田、青柳、小林、今田、鯖尻各メンの8名。議事要旨は次の通り。

1. 10~12月の例会運営に関して

- ①チラシに記載の通り10月は、マナ助産院院長 永原郁子氏の卓話「大切な命と向き合う」、11月はさくらクリニック院長 関山英一氏の卓話「ベトナムでのボランティア活動」を予定。
- ②10/16第2例会は、現宝塚ホテル閉館後の例会運営に備え「弁当試食会」を予定。発注候補に明月記・夏鈴・館内レストランをあげ、先ず「夏鈴」からトライ。吉田メンが折衝の結果、@1300、当日18時の宅配が可能。西公民館パーティ室を予約。次候補:館内レストランについては別途、若林が折衝。
- ③12/11(水)大阪土佐堀・大阪センテニアル・宝塚の3クラブクリスマス合同例会を宝塚ホテルにて開催。18時~チャペルにて礼拝、シルバーの間にて懇親会。9/13に3クラブ関係者による準備会にて、会費5,000円、参加見込80名、礼拝に宝塚教会浦上牧師にメッセージを依頼、日本YMCA同盟地球市民プロジェクトへの献金等を決定。懇親会で各クラブの得意技を披露・お誕生祝い・集合写真を行う。詳

細を詰め 10 月中に実行プログラムを決定する。

2. キャロルの夕べに関して

- ①今回のプログラムには、独唱者として田中良和氏、宝塚厚生幼稚園の保護者 OG によるゴスペル、フラのピアノ伴奏者として知的・盲二重障害者 坂部友淳氏を迎える。今回は当クラブの主催事業として最終回であるので、裏方として協力下さったワイズの面々にも舞台の全てを観ていただけるよう配慮する。
- ②市民クリスマスの継続を望む声に対応する新たな方策を協議。この事業のミッション・運営組織・協力的体制などを見直し、「宝塚市きずなづくり推進事業補助金」の利用を検討する。

3. 各部会参加者の確認

各部会への参加予定者を確認した。

4. チャリティランの準備

11/4 開催チャリ・ランでのラーメン出店を確認、数名が参加見込。運送車両の確保が難しくなっており個々に調整を進める。実行委員会から個人協力金 3,000 円の要請あり。

5. CS 事業に関して

青柳メンから六甲部 CS 事業として 2 つの計画が報告され、承認・協力を確認した。

- ①11/16(水)14 時から、神戸 YMCA にて、海洋汚染についての講演会
- ②4/28～29 兵庫県民会館ギャラリーにて、キラリと輝くアート展

6. 宝塚クラブのホームページへの掲載事項に関しての確認

六甲部 HP に掲載の「クラブカレンダー」について若干の意見交換をした。

7. 10 月号ブリテン

長尾メンの編集案に基づき寄稿分担等を確認した。

8. 鹿児島クラブ 30 周年記念例会への参加に関して

参加希望を募り数名が応じ、早急に旅行手配を行うことにした。

書記 若林 成幸

部会に参加して

阪和部部会に参加して

9 月 16 日(月・祝)12:00～ホテルシティプラザ大阪で阪和部会が開催された。約 150 人の参加で宝塚からは多胡一人が参加。

第一部は開会の部、第二部は基調講演、第三部は懇親会、第四部が閉会の部のプログラムに沿って会は進行。今期の阪和部長は大阪泉北クラブの飯沼 眞 ワイズ。部長主題の「平和、幸平・平等、多様性」=「生命(命)」に思いが込められ、第二部の基調講演は広島被爆証言の会、被爆2世の山岡美智子さんからご自身のご両親、友人たちの被爆の体験からの証言を語られ、核のない平和な社会となるように次世代に語り伝える必要性を述べられた。第三部の懇親会は座席がくじで引き決められた。今まで声掛けをしていなかったたちとの新しい出会いと会話で楽しい懇親会のひと時を過ごした。またこの阪和部会ではSTEPでお世話になった前国際・交流主任の中井信一ワイズと現国際・交流主任の前田香代子ワイズに大樹の報告もさせていただくことができました。

多胡葉子

六甲部・瀬戸山陰合同部会に参加して

2019年9月28日(土)神戸ベイシェラトンホテル&タワーズで六甲部・瀬戸山陰部の合同部会が六甲部柏原佳



子部長と瀬戸山陰三宅敬直前部長の開会点鐘で始まりました。聖句「ひとりよりも二人が良い。共に労苦すれば、その報いは良い」の通りの部会になりました。第一部は恒例となりますバナーセレモニーから始まりました。

柏原佳子部長挨拶、来賓紹介挨拶、そして戸所岩雄理事の挨拶。続いてワイズビジョン構想特別委員会委員長森田恵三ワイズのワイズビジョンを目指す会員増強、新生ワイズ起こしの運動の熱い思い「ワイ

ズ100周年！輝く歴史を未来まで！」のお話が有り一同で三唱しました。

第二部は懇親会。姫路グローバルバンド、サクソフォンカルテット・コパンの演奏が会場をさらに盛り上げてくれました。西日本区からまた東日本区からも含めて200名に及ぶ出席者であちらこちらのテーブルでは楽しい交流が広げられ、またたくさんのアピールタイムも設けられ交流の楽しさ溢れる合同部会でした。多胡葉子会長のマゴメット石田大樹君のSTEPでのデンマーク・ギブクラブ訪問の報告もありました。実行委員会の上野恭男ワイズと山本和生ワイズの握手の後、お二人の部長のご挨拶、閉会点鐘で合同部会は盛会に終わることが出来ました



鯖尻佳子

戸所岩雄理事と六甲部会長懇談会

六甲部会が開催された9月28日に部会の始まる前の午前10:00~11:20まで部会会場六甲の間で開催された。

六甲部8クラブの全会長と理事キャビネット、六甲部長、メネット主査、など15人の参加で開催された。

この懇談会は理事が西日本区の役割などを模索していっている中で各クラブとの関わり方がどのようにあるのが本来のワイズ活動の姿なのかを意見を交換し、議論を重ね、課題に対して積極的に取り組んで行きたいとのことで各部会ごとに開催を重ねられている。

全体の課題としてはメネット会のあり方、Y'sのクリスチャニティーに関して、会員増強、YMCAとの関わり、などなど多くある。六甲部各クラブ会長もそれぞれの思いや活動の内容、クラブの抱える問題など積極的な意見がだされ、活発な話し合いの場になった。

このような議論、話し合いは結論がでることはないが話し合いの場をもつことにより、より良い活動、交流、助け合いなどが生まれワイズ活動の活性化につながってくるように思われた理事との有益な懇談の時であった。

理事から情報の共有は大切なために毎月 1 日に発行される理事通信は是非ともクラブのメンバーの方々は一読していただきたいとのことです。

多胡 葉子

メネットアワーの報告

部会に先立ち 11 時 30 分よりメネットアワーがもたれました。メネットのねがいの斉唱、理事・部長の挨拶の後、今年度事業の一環として『子どもの虐待……その予防のために』と題して、岡山CAP代表の山下明美姉の講演がありました。{CAP=Child Assault Prevention の頭文字=子どもへの暴力防止グループ}

きちんと準備されたパワーポイントをもちいて虐待の統計・定義・体罰禁止の法制化等の説明にはじまり虐待をなくすためにはいかにしていくかを学びました。子どもたちの「安心・自信・自由



」の権利を守っていくことが課題ということで、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

後、主任の事業方針を伺いおわりましたが有意義な会でした。

私的な感想ですが、メネット会というのに男性が半数以上、それだけこの問題は関心が高いのかと思いつつ、メネットはもっと奮起しなければと思いました。

今田 和子

他クラブ例会訪問

《 9 月例会、芦屋ワイズメンズクラブ 》

9 月 18 日(水)、ホテル竹園芦屋で「高山右近—キリシタン大名の人生」と題して、川邨裕明カトリック芦屋教会主任司祭による講演で例会が開催された。近隣のカトリック教会の列席者共々、総勢 43 名の参加であった。

信長、秀吉、家康続く壮絶な戦国時代を歩んだ右近は、高槻城主として領民への深い慈しみでもって、領民のほとんどは強制されずにキリシタンになった。茶道等を通じて、政治的、武道、文化人としてその手腕を持ち合わせていた細川忠興とは十代より親友であり、その後より親交を深めた。忠興の運命に翻弄される妻、玉(玉子)のよき相談相手であり、キリシタン信仰へと導き、彼女は細川ガラシャとして最期を遂げるのである。

秀吉等の禁教令にもかかわらず、棄教を拒否。家康の大禁教令では金沢から長崎、マニラに追放され客死する。彼が追放されるすべての土地は宣教地となり、必ず教会が生まれている。「彼が担ってきた大変な苦労とその奉献は信仰によるものであり、右近の人生は長い殉教生活でありました。」と殉教地、フィリピンのイエズス会管区長バレリオ・デ・レデスマが語っている。

1597 年長崎で殉教した 26 聖人の長崎での列福式、そして 2017 年大阪城ホールで举行された高山右近の列福式に臨席できた幸せと同時に現代における我々に与えられた宗教の自由の幸せをじっくりと噛み締めるひと時であった。

福田宏子

《 9月例会、神戸学園都市ワイズメンズクラブ 》

2019年9月19日(木)、19時から学園都市 YMCA チャペルでウエルネス会員、近隣住民の方々にも声をかけて公開例会が開催されました。この日は柏原佳子六甲部部长と上野恭男書記の公式訪問日でした。



今回で3回目の「フラを通して学ぶアロハスピリット」のパート3として一般的なハワイのイメージや知識とは違う部分を取り上げて講演し、その後、関学フラサークル・マハロのフラガール達の元気なフラを楽しんで頂きました。

一般の方の中には今回で2回目と言う方が2~3人おられ責任を感じました。

日本が明治政府に変わった頃、100年続いたハワイ王朝は崩壊しアメリカに統合されました。その後、密かにハワイ国民によって作られた彼らの誇りと女王に対する強い忠誠心を歌った曲を題材に、知られていないハワイの話を80名以上の出席者の方々は熱心に耳を傾けて頂き大変嬉しかったです。

マハロの学生たちにとっても YMCA やワイズメンズクラブへの協力は大きな意味のある事と認識し、機会を与えて頂いた神戸学園都市クラブに心から感謝します。

石田由美子

市民クリスマスの意義を 問い直す

我がクラブの特別3事業のあり様を検討する中で、市民クリスマスは、14年の活動を経て随所にマンネリ夜勤(筋力)疲労が見え隠れし、どこかで流れを断ち切らねばならないと考えてきました。しかし、ポップン・マハロ・幼稚園から継続希望があり、六甲部も前向きな意向を表明されるなど、新たな展開を模索せざるを得ない状況になっています。そこで9/18に関係者が集まって「市民クリスマス継続実施のための協議会(第1回)」を行いました。出席者は、多胡、吉田、石田、岡野、若林メン。長尾メンは欠席。

協議のポイントは、当事業の意義(ミッション)、企画・演出適任者の選任、新しい運営委員の選任と実行組織、運営資金獲得の方策等々。運(縁)良く、テナー歌手・田中良和氏が音楽監督の協力を約して下さいましたことはラッキー。また、宝塚市に「きずなづくり推進事業補助金」制度があることを知り、これらを味方にして実施可能な方策を練ってみようということになりました。さらに、市民クリスマスの趣旨は「朗読と教会音楽によって真のクリスマス(の意義)を市民に贈る(知らせる)」としてきましたが、今後は、神戸 YMCA が取り組んでいる「One Camp」の考え方で、多様な個性が一つになってつくる「One Xmas」を提唱することを考えたいと思います。

9/21はんしん自立の家で行われた講演会でも大きな収穫がありました。マレーシアの自然の中で現地の人々と生き、平和と福祉を模索された中澤 健夫妻の人生訓、「福祉は To, For でなく With だよ」。心に響く重い言葉でした。

市民クリスマス委員長 若林 成幸



YMCA だより

1. 西宮YMCAバザー「Yわいカーニバル」

西宮YMCAで恒例のバザー、お祭りを行います。西宮ワイズの方々からはラッキー抽選券販売のセールスをされることもあるでしょうが、ぜひ大いに盛り上げていただければと思います。ぜひ顔を出していただければ幸いです。

日 程:10月20日(日)10時30分～14時30分

場 所:西宮YMCA

参加申込不要、現在寄贈品募集中です！！

その他、10月19日(土)には神戸学園都市会館で、10月26日(土)には神戸YMCA本館で、同様の活動を行います。お近くの方はぜひ足を延ばしてください！

2. 第21回神戸YMCAチャリティーラン

ワイズの皆様の恒例にもなったチャリティーランも今年で22回目。神戸しあわせの村に小学生から大人たちが走って汗かき、喜び繋がりあう秋の時間を過ごします。ぜひ今年もランナーとして、また奉仕者として大会をお支えいただきますようよろしくお願いいたします。

日 程:11月4日(月・祝)9:30～15:30

場 所:神戸しあわせの村

詳細は <https://www.kobeymca.org>

3. チャリティーゴルフ

青少年指導者養成基金やまた国内外で必要とされる支援のためのファンドレイジングとして1999年から始まった神戸YMCAチャリティーゴルフも早41回目を迎えます。宝塚からも毎回多数の方がご参加していただいています。ぜひ一緒に汗を流し、楽しみながらチャリティー活動に参加しませんか？

日 程:10月23日(水)

場 所:兵庫カンツリー倶楽部

4. YMCAセミナー2019

日本と韓国の関係に緊張が高まっていますが、そもそもの両国間の隔たりはどこから来ているのでしょうか。YMCAではセミナーとして日本と朝鮮半島について学びの時を持ちます。

日 時:2019年11月2日(土)15:00-17:00

場 所:三宮会館

5. 神戸YMCA学院専門学校 生活備品のお願い

神戸YMCA日本語学科は秋より新たに40名の留学生を迎えましたが、神戸の生活を少しでも快適に始められるように留学生に生活備品を配布しています。ご自宅に眠っている新品の食器やタオル、洗剤、ハンガーなどがございましたら寄贈くださいますようご協力お願いします。

受付:10月3日まで

問い合わせ先:神戸YMCA学院専門学校日本語学科(078-241-7204 担当橋本)まで

6. 西宮 YMCA ファミリープログラム

保育園や学童保育、野外活動や発達障害支援、西宮地域のYMCAの活動にかかわっているファミリーが一堂に会し、リーダーなどボランティアとともに一日を過ごし、「みつかる。つながる。よくなっていく。」を体験するプログラムです。今年の秋は、11月23日に六甲山YMCAで野外活動体験を行います。詳細は後日お伝えしますが、関心のある方、ぜひご予約ください。

2019-2020 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

| 事業委員 | | (委員長) | | 特別 | | (委員長) | | |
|------|---------|--------|-------|------|---------------|-------|-------|-------|
| | Yサ・ユース | 武田 壽子 | 西川 勝久 | 事業委員 | NGO 連絡協 議会 | 鮎尻 佳子 | 堀江 裕一 | 福家 清美 |
| | 地域・環境 | 青柳 美知子 | 風早 寿郎 | | じゃがいも | 小林 康男 | 吉田 明 | 風早寿郎 |
| | EMC | 若林 成幸 | 鮎尻 佳子 | | 市民クリスマ ス | 若林 成幸 | 吉田 明 | 長尾 亘 |
| | 広報・ブリテン | 長尾 亘 | 福家 清美 | | 〃 | | 石田由美子 | 多胡 葉子 |
| | 交流・ファンド | 福田 宏子 | 石田由美子 | | | | | |